

令和 5 年度 ACTR

分類 番号	A3	取組 名称	京都府北部の MALUI 連携による文化資源を活かした地域づくり
研究代表者所属・職名：		文学部・教授	氏名： 東 昇
研究担当者： 京都府立大学（小林啓治、横内裕人、上杉和央、藤本仁文） 外部分担者・協力者（福島幸宏氏、小室智子氏、西村正芳氏、稲穂将士氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府舞鶴市、舞鶴地方史研究会、福知山市文化スポーツ振興課、京都府立丹後郷土資料館など			
【研究活動の要約】			
<p>・府大の将来構想に位置づけられる、「文化庁・きょうと MALUI 連携センター（仮称）」事業のパイロット版として進めた。この事業は、文化庁、M（博物館）A（文書館）L（図書館）U（大学）I（企業・産業）ほか諸団体の持つ情報を集約し活かす拠点をつくり、より多面的で深い文化資源の活用を行うため以下の 2 事業を展開した。特に京都府北部で地域と連携し各種事業を実施した。</p> <p>1 舞鶴 MALUI 連携 WEB の活用と地域連携 2 丹後全域における博物館連携による文化資源コンテンツ化</p>			
【研究活動の成果】			
<p>・舞鶴郷土資料館、舞鶴地方史研究会とMALUI連携し、木船家文書の共同調査を行い9,000点の目録・文化資源データを作成した。調査成果であるコラム・目録・翻刻を掲載した、文化遺産叢書30号『木船衛門家文書調査報告』を刊行し、府内自治体の図書館、文化財関係部署に配布、成果を共有した。</p> <p>・京都府立東舞鶴高等学校において、MALUI連携授業「古写真から見る近代の舞鶴」を実施した。2023年11月、2024年2月、2年生が大学生の指導・協力のもと、研究1年目に制作したWEBサイト「まるまる舞鶴」等を利用し、レポートを作成、報告を行い、自分の暮らす地域の歴史について理解を深めた。</p> <p>・京都府立福知山高等学校において土曜講座「古文書調査体験講座」を実施した。2023年12月附属中学校・高校生が、高校所蔵の古文書を使い大学生とともに調査の方法を体験し文化遺産の重要性を学んだ。</p> <p>・文化庁地域連携交流会の開催、2023年12月17日舞鶴市西公民館において、文化庁書跡・典籍、古文書部門の調査官3人が文化財指定業務等を報告した。会には文化遺産に関心のある、舞鶴市郷土資料館、舞鶴地方史研究会、舞鶴市、丹後郷土資料館の学芸員・職員、府大学生が参加した。京都に移転した文化庁の業務を理解し、地域の文化遺産の保全について意見交換・交流ができた。</p>			
【研究成果の還元】			
<p>2023.11.20、2.19 MALUI連携授業「古写真から見る近代の舞鶴」 京都府立東舞鶴高等学校、計48名 2023.12.16 土曜講座「古文書調査体験講座」 京都府立福知山高等学校、18名 2023.12.17 文化庁地域連携交流会 舞鶴西公民館、15名 2023.10 MALUI 連携 WEB「まるまる舞鶴」に地図検索を追加 2024.3 東昇編、京都府立大学文化遺産叢書第 30 集『舞鶴木船衛門家文書調査報告』 府大・府内自治体図書館で閲覧可 （いずれも詳細は大学・学科 WEB にて公開中）</p>			
【お問い合わせ先】 文学部歴史学科 教授 東 昇 Tel: 075-703-5271 E-mail: n-higashi@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）



東舞鶴高校における MALUI 連携授業「古写真から見る近代の舞鶴」



福知山高校における土曜講座「古文書調査体験講座」